

食育だより 3月号

令和7年3月
習志野台中学校

もうすぐ桜のつぼみがほころぶ季節になります。3年生の皆さんは、ご卒業おめでとうございます。2月で、3年生は給食が最後になり、最終日に給食セレモニーを実施してくれました。給食室一同、励みになりました。ありがとうございました。

これから先も、楽しく過ごした給食の時間が、皆さんを支える思い出になってほしいと願っています。そして、給食で学んだことを生かして、進学先や新しいクラスでもがんばってください。応援しています。

給食を通して学んだことをふり返ろう

①食事は、人間が生きていく上で欠かすことのできない大切なものであることがわかりましたか？



④給食は生産者や調理員、栄養士など多くの人びとによって支えられていることを知ることができましたか？



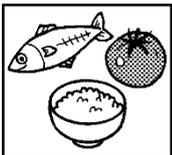
②食べる前に手洗いをを行うほか栄養バランスのよい食事をとるなど健康に気をつけることができましたか？



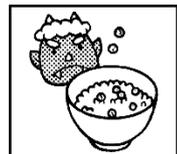
⑤配ぜんや盛りつけを丁寧に行ったり、食事のマナーに気をつけたり、相手を思いやることができましたか？



③学校給食にはいろいろな食品が使われていることを知り、食品や料理の名前がわかりましたか？



⑥自分たちの住む地域に昔から伝わる料理や行事食などの食文化を知ることができましたか？



桃の節句

3月3日は、「桃の節句」とも「上巳の節句」とも呼ばれ、女の子の健やかな成長と幸せを願う日です。ひな人形を飾る風習は、室町時代頃に始まり、一般に広まったのは、明治時代以降といわれています。それまでは、厄をはらうための紙の人形だったといわれています。桃の節句につくられる行事食には、はまぐりのお吸い物やひしもち、ちらしずしなどがあります。

給食でも、ひな祭りを意識して、A 献立は「五目ずし」、B 献立は「桃のクリームチーズサンド」にしました。

